

祝 ワールドカップ出場！黒木選手 ビーチサッカー日本代表表敬訪問

4月28日、ラモス瑠偉監督率いるワールドカップビーチサッカー日本代表に選ばれた熊本在住の2選手が、所属チームの監督と共に市長を表敬訪問しました。



左より、黒木選手、市長、前田選手、光永監督

この日、FCエスペランサ熊本の黒木直幸選手、前田直樹選手と光永誠司監督が訪れ、このうち八代市出身の黒木選手は、沖縄での合宿の疲れも見せず、「結果を出して、ビーチサッカーをみなさんに知って欲しい」など、ワールドカップ出場に向けての抱負を熱く語りました。

ビーチサッカーは、砂浜で競う5人制のミニサッカーで、5月にFIFA公認の第1回ワールドカップがブラジルで開催され、今後人気スポーツへ発展することが期待されています。

日本代表は、5月5日にブラジル入りし初戦に備えました。結果は、ブラジルと3位決定戦で対戦し、敗れはしたものの堂々の4強入りを果たし、黒木選手も日本代表初ゴールを決めるなどの奮闘ぶりでした。

市内で5番目の交番誕生！ 田中町交番落成式

5月18日、田中町交番落成式が行われました。この交番は、平成6年の八代港線（臨港線）開通により車両や人の流れが変化したことから、松高と八千把校区のそれぞれの駐在所を廃止し、4月1日に開設されたものです。



田中町交番に勤務する所員ら

式典では、佐喜本孝二八代警察署長が「この交番が、松高と八千把の駐在所の歴史を引き継ぎながら、新しい歴史と伝統をつくっていききたい」とあいさつ。また、世良沙織巡査部長が、「安全で明るく住みやすい地域になるよう、住民に信頼される交番にする」と決意を表明しました。

交番には、9人の所員が交代で24時間常駐します。建物は、敷地面積297㎡、床面積127㎡の鉄筋2階建てで、コミュニティスペースや貸し出しができる会議室などもあります。

33年ぶりの結婚式 豊葦原神社



近所の人も集まり、かなお祝いの餅投げ

4月23日、豊葦原神社（通称：遥拝神社、白石明宮司）で、33年ぶりに神前結婚式がありました。式を行ったのは、新郎・太宰健さん（福島県郡山市）と新婦・真由美さん（旧姓：福島、昭和日進町）。新婦が、知人の紹介で初めて神社を参拝したとき、この神社と宮司が夢に出たことを思い出したことがきっかけとなり、この場所で式をしたいという新郎新婦からの強い希望で、式は実現しました。

神前式終了後の餅撒きでは、駆けつけた近所の人から「結婚おめでとう！」と、2人の門出を祝う盛大な拍手と声援が送られました。

あじさいロードを作りたい 球磨川沿岸の除草作業と柵作り

将来、球磨川沿岸があじさいロードとして八代の観光名所になればと、出田さん夫妻（古城町）は、国土交通省の許可を受けてアジサイを植える活動をしています。約6年前に活動をはじめ、現在では市内各所に3000株以上を植えてきました。

先日、アジサイロードのアジサイを誤って刈り取った除草業者が、謝罪を含め活動の趣旨に賛同し、約20万円の寄付を行いました。これをきっかけに、5月14日、球磨川沿岸の除草とアジサイの柵作りが行われました。

作業には、以前、出田さん夫婦が古町児童公園にバスケットゴールを設置したお礼にと、八代市立第三中学校バスケットボール部員たちなど約30人がボランティアとして参加しました。キャプテンの中津滉一くんは、「大変だったが、地域の役に立ててよかった」と晴れやかな笑顔で話しました。



除草や柵を設置する八代三中バスケットボール部員たち

5月11日、八代市厚生会館で、代陽小学校5・6年生と八代第一中学校1・3年生など約800人が参加し、南極の昭和基地とテレビ電話で中継する「南極ライブ授業」が行われました。これは、子どもたちが、南極の現状などを理解し、地球環境などへの関心を深めてもらうことを目的に開催されたものです。

南極との中継は、昨年11月、第46次越冬隊医療担当として参加する八代市出身の越智勝治さんが、八代市教育委員会を訪れたことをきっかけに、国立極地研究所の協力で実現しました。

授業は、はじめに第45次越冬隊長である同研究所の山岸久雄教授が、南極の気象や生活などについて講演。その後、昭和基地からの中継があり、南極の様子が映されると、会場からは大きな歓声が沸きあがりました。生徒たちから南極について質問されると、隊員たちは映像を交えながら丁寧に答えていました。最後に、越智さんは会場の生徒たちへ「大きな夢を持って欲しい」とのメッセージを送りました。

沼田一樹くん（八代一中1年）は、「南極の景色など、今の状況を見ることができ、とても面白かった。もっと受けていたい授業だった」と話しました。

この模様は、「ごろっとやっちょ」で配信中です。

<http://www.gorotto.com/live/sp.phtml>

南極から生中継！ 南極ライブ授業

まちのわだい



会場からの質問に答える越智隊員

日ごろの訓練の成果

八代広域消防本部消防救助技術大会



技術大会とはいえ本番さながら

4月21日、八代広域消防本部消防救助技術大会が行われました。

競技は、ほふく救出など7競技が行われました。会場には、幼年消防クラブとして八代郡市の保育園児約230人が訪れ、選手たちは、子どもたちの声援を受けながら、一瞬を争う人命救助の練習技術を競い合いました。

おめでとう40万人！

市立博物館未来の森ミュージアム来場者

5月2日、今年10月に開館15周年を迎える八代市立博物館未来の森ミュージアムの来館入場者数が40万人に達しました。

40万人目は、小林真理子さん（横手新町）で、富山県から帰省中だった夫の康信さんと一緒に、この日開催中の「印象派と西洋絵画の巨匠」を観に来たとのこと。博物館から記念品として、展覧会図録などが贈られると、小林さんは「突然のことでびっくりしました」と喜んでいました。



来館入場者40万人目となった小林さん夫妻（左）

図書への理解と親しみ

こども読書週間
〈1日図書館員体験〉



返却本の手続きする吉永さん（中央）林田さん（右）

4月23日、八代市立図書館で、こども読書週間行事のひとつとして、林田理沙さんと吉永佳澄さん（共に龍峯小学校6年生）が「1日図書館員」となり、図書館業務を体験しました。2人は、接客の難しさを体験しながらも業務を一生懸命こなし、今まで以上に図書への理解と親しみが沸いたようでした。

この日は、リサイクル本の無料配布やおはなし会などもあり、図書館は多くの人で賑わいました。